

乳幼児期は遊びが学び 一幼保連携型認定

「遊びを通した学び」から

乳幼児期の教育及び保育

「遊びを通した体験」を通して、

〈幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育みたい資質・能力〉

知識及び技能の基礎

遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする

思考力、判断力、表現力等の基礎

遊びや生活の中で、気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

この資質・能力は、小学校以降の教育で育んでいく「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながっていきます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（資質・能力が育まれている園児の、園修了時の具体的な姿）

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿は、個別に現れるのではなく、絡み合いながら現れてきます。

健康な心と体

「体を動かすって楽しいな」
「明日は〇〇の日だから、今日はこれを準備しておこう」
「これをしたら危ないね」
「どうしたら安全に遊べるかな」

自立心

「今日は当番の日。頑張ろう」
「自分でやってみよう」
「諦めないで、もう一回チャレンジ！」

協同性

「どうしたら上手くできるかな？」
「こうしてみない？」「こっちの方がいいかな？」
「ここを持っていてくれる？」「いいよ」
「それ、いい考えだね」「私もやってみよう」
「友達っていいな」

道徳性・規範意識の芽生え

「ルールを守ると楽しいね」
「今はどう行動したらいいのかな」
「友達はどんな気持ちかな」
「みんなと心地よく生活できるようにしよう」

思考力の芽生え

「ふしぎだな」「どうしてだろう」
「どうなるかな」「もう一回試してみよう」
「面白いね」
「〇〇さん、いい考えだね！」

自然との関わり・生命尊重

「ダンゴムシ、見付けたよ」「丸くなった！」
「野菜は、太陽やお水がご飯なんだね」
「ウサギのお世話をしよう」
「こっちに氷ができたよ」「ここにはないよ」
「どうしてここに氷はできないの？」

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

「どっちが勝ったか、数えてみよう」
「三角の積み木をくっけると四角になるね」
「お店の看板を作ろう」「チケットもね」
「面白い形のサツマイモがとれたよ」
「表示があれば、どこに片付けるのかわかりやすいね」

言葉による伝え合い

「絵本や物語、楽しいな」
「友達に伝えたいな」
「〇〇さんの話を聞いてみよう」
「友達に気持ちが伝わって嬉しいな」

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は到達すべき目標ではありません。また、個別に取り出されて指導されるものではないことに留意が必要です。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、子どもたちの自発的な遊びを通して、一人一人の発達の特性に依拠して育っていくものであり、全ての子どもに同じように見られるものではありません。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、園と小学校の円滑な接続を図るための手掛かりになります。

小学校以降の教育

小学校以降は教科書などを使った各教科等により、

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

こども園の教育及び保育において育みたいこと

「各教科等の学習」への円滑な接続

資質・能力を一体的に育んでいます。

「*」は、遊びを通じた体験の例を示しています。



*友達と関わる

*順番にする

*意見の対立と葛藤

*友達に説明する

*友達に話す

*様々な斜度、
素材で試す

*転がり方（摩擦・回転
など）や浮く・沈む
などに関する発見

*互いに観察する

*アイデアを出し合う

*片付けをする



保育教諭たちは、どのような遊びや遊具、材料などを使って遊ぶことで、これらの体験ができるのかについて、日々、子どもたちの様子を丁寧に捉えたり、計画を立てたり、保育室の環境や教材などを準備したり、関わり方を考えたりしています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿は、 小学校生活でのこのような姿につながっていきます。

- ・ 時間割など、生活の流れが分かり、次の活動を考えて準備する。
- ・ 安全に気を付けて登下校する。
- ・ 分からないことを先生や友達に聞きながら粘り強く取り組む。
- ・ 自分の力を発揮しながら友達と協力する。
- ・ 相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったりなど、気持ちや行動を調整する。
- ・ 相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人と関わることを楽しむ。
- ・ 関心のあることについての情報に気付いて積極的に取り入れる。
- ・ 小学校生活で出会う新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって関わる。
- ・ 主体的に問題を解決する。
- ・ 生命あるものを大切にし、生きることのすばらしさについて考えを深める。
- ・ 小学校の学習に関心をもって取り組み、学んだことを日常生活の中で活用する態度になる。
- ・ 友達と互いの思いや考えを受け止めたり、認め合ったりしながら一緒に活動する。
- ・ 伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする。

（「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」の内容から）

社会生活との関わり

- 「おうちの方、地域の方、みんな大好き」
- 「園の近くには、いろいろな人がいるんだね」
- 「役に立って嬉しいな」
- 「僕、私が住んでいる場所はこんなに楽しいよ」

豊かな感性と表現

- 「園庭のお花、きれいだな」
- 「楽しいから踊りたくなってきた！」
- 「この材料で作ろうかな」
- 「劇遊びや歌、楽しいね」
- 「身体をいっぱい使ってみよう」

※括弧内は、園生活の中での子どもの気持ちやつぶやきを、一つの例として記載しています。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は絡み合いながら現れるため、つぶやきについても一つの姿に限定するものではなく、様々な姿の中で同じつぶやきが見られます。

園と小学校で、子どもの発達と学びは連続しているため、円滑な接続が必要です。それぞれの時期にふさわしい生活を大切にしています。



資質・能力をバランス良く育んでいきます。

学びに向かう力、人間性等

これらの資質・能力は、高等教育までつながっていきます。

先生たちはこんなことを大切に 子どもたちに関わっています。

保育教諭等と子どもたちとの関わり

園児の活動の理解者として

〇〇さんはこれをしたんだね。
どこでだれと何をしているのかな。
など



共同作業者・共鳴する者として

楽しいね。嬉しいね。
どうしてかな。ふしぎだね。
など



何かを一方向的に教えるのではなく、一人一人がいろいろな体験ができるよう、一緒に遊んだり、一緒に考えたり、一緒に見つめたりしています。

憧れを形成するモデルとして

先生大好き！
私も同じようにやってみたい。
など



遊びの援助者として

こうしてみたらどうかな？
一緒に遊ぼう。一緒に考えよう。
こんな材料もあるよ。
友達がお話ししているよ。
など



生命の保持や
情緒の安定など、
養護を基盤にして

心のよりどころとして

先生がいれば安心。
先生は気持ちを分かってくれるよ。
など

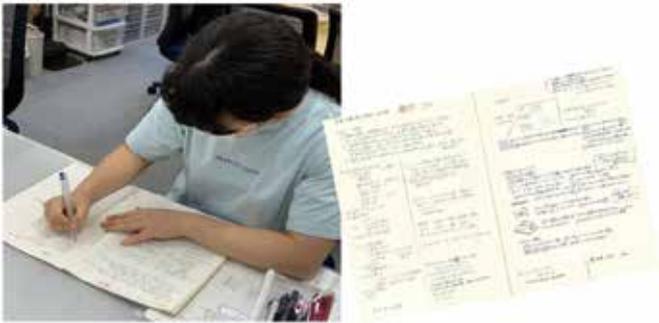
言葉を掛ける・見守るなど、そのときにその子にどんな援助が必要なのかを考えながら関わっています。



子どもたちと一緒に過ごしなが、一人一人の子どもが安心して生活し、幼保連携型認定こども園で育みたい資質・能力（6・7ページ）を育ていけるように関わっています。

先生たちはこんなこともしています。

子どもたちを理解するために



☆ 遊びや生活の様子を振り返りながら子どもたちの様子を記録し、「子どもたちが感じていたこと」「考えていたこと」「体験していたこと」などを捉えるようにしています。

☆ 「明日はどのように子どもと関わるのか」や「どんな遊びをするのか」なども考えています。

子どもたちが発達に必要な体験ができるように、様々なことを考えたり学んだりしています。

遊んだことや心身の状態などを伝え合い、一日を通して遊びや生活が充実するようにしています。



子どもたちの発達の状況や指導の計画などを理解し合い、同じ目的に向かって子どもたちを育てていけるようにしています。

「この遊具や材料でこんな遊びができるかな」「何をどこに置いたら楽しい遊びや子どもたちの安心につながるかな」などと考えながら、遊びや遊びに使うものを研究しています。



園内の研修や園外の研修に参加し、子どもの発達につながる遊びやふさわしい援助などについて共に学び合っています。

～園から小学校へ～



保育教諭と小学校の教師が、一人一人の育ったところや、これから育ててほしいところなどを伝え合い、安心して就学を迎えられるようにしています。

～個人面談での保護者と保育教諭の会話より～



1年生になるまでに何をしないといけないの？ 字が書けないといけないのかな…。

乳幼児期に育みたい力を育ていけるよう、いろいろな体験を大切にしましょう。乳幼児期は、標識や文字に親しむ体験を重ねる中で、標識や文字の役割に気付いたり興味や関心をもったりすることが大切です。



園で、お店屋さんごっこの看板・メニューや道路標識などを作って遊んだり郵便屋さんごっこをして遊んだりしている様子をよく見ますね。

鉛筆の正しい持ち方や字の書き方は、小学校で丁寧に教えてくれますよ。※



※小学校学習指導要領では、1・2年生の「国語」の中で指導することになっています。

ご家庭では、入学が楽しみになるようなサポートをしていけるとよいですね。